

昭和18年3月20日生。
・私立城北高校卒業
・明治大学商学部卒業
・宝石店経営
・議員5期・区議会議長歴任
・予算・決算委員長等歴任
・民生委員、保護司
・文京区小P連会長等
多くのボランティア歴任

宮崎文雄 レポート

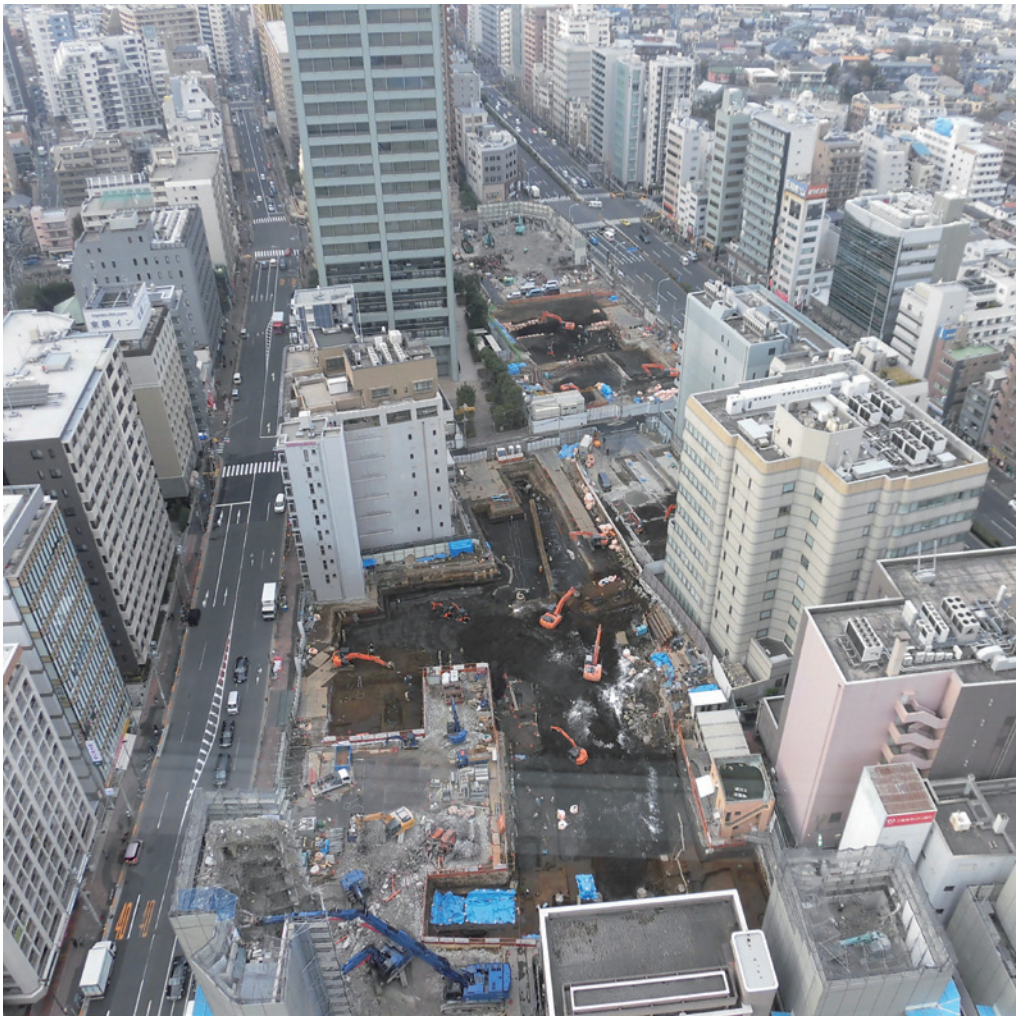
どんな事でもお気楽に

区政、教育、法律、
環境、雇用、福祉等
くらしの相談室



TEL/FAX: 03-3268-3823
メールアドレス:
fmiyazaki0320@yahoo.co.jp
URL: http://www.j-miyazaki.com
文京区関口 1-23-6-118

ボランティアの
宮崎文雄



2月現在、開発事業現場

1

春日・後楽園駅前開発事業計画

文京区庁舎前の春日再開発事業は東京都の
豊洲問題と同じ手法

約1200億円の総事業費のうち
約900億円の建設は、入札した建
設企業が大成建設、清水建設等豊
洲と同じです。

入札率は99%（推定）で役所は民間
事業だからといって何故か教えてく
れません。

約270億円になった補助金のう
ち、100億円の追加補助金につい
ても交渉経緯の記録及び公表につい
ての質問の答弁は「補助金増額につ
いて、関係機関と資金計画等の協議

結果に基づいた行政文書を作成し、
管理してまいりましたが、これまで
協議の経緯がわかる文書の作成をし
てきませんでした。今後は、これら
の記録を作成し、公表に努めます。」
隠しているのか、議事録を今までわ
ざと記録しなかったのでしょうかと思えませ
ん。国、都、区とも隠蔽するのが得
意です。100億円の追加補助金は
公益性がある育成室、特養ホーム、
図書館等を新たに設置するよう求め
ています。

2

コミュニティサイクル(自転車シェアリング)



江戸川公園入口



富山市のシェアリング



コミュニティサイクルとは、地域
内に複数のサイクルポートを設置し、
どこでも自転車を借りることができ、
返却することができシステムです。
都市の新たな移動手段として、世
界各国でも普及が進んでおります。
文京区は千代田区、中央区、港区、
新宿区、江東区で相互乗り入れがで
きます。便利なコミュニティサイク
ルをご利用ください。
このコミュニティサイクルを事業
化する為、私は建設委員会で先進都

市の富山市の自転車シェアリングの
研修に行ってきました。富山市では
シェアリングに広告を付ける等して
勉強になりましたが、文京区も企業
と連携する事になりました。

料金は1回会員で、最初の30分は
150円で、延長は30分を超過した
場合、100円。

月額会員は、基本料2000円で
最初の30分は0円で、延長は1回会
員と同じです。

3 肥後細川庭園

10年前から私の地元、新江戸川公園の名称を「旧細川庭園」に変更するよう言ってきました。

しかし、やっと第二期改修工事の完了に伴い、新たな名称の一般公募を行ない、「肥後細川庭園」と決定しました。

敷地内の建物「松聲閣」については、地元の町会の方々は、集会室や休憩施設として耐震性や建設費を考慮してコンクリートの建物でもよい等の意見もあり、早く整備するよう陳情書も提出されました。10年も経過してリニューアルオープンしたのです。



松聲閣

この庭園と新宿区の夏目漱石公園等と連携し、新観光スポットとしていきます。

ただこの地域は、アクセスが悪く、観光資源を生かし切れていません。

以前から、都電やBーぐる等の交通機関を切望していますが、早い実現を願います。



4

湯島総合体育館について 総合体育館換気設備等改修工事についての 補正予算を否決

3年前の新築当時から雨漏り、シミ、カビ等の不具合が繰り返されており、ぶんきょう未来は空調機能の向上の必要性について検証する事がまず必要だと考えて、この公共施設の企画・設計の検証委員会の創設を区に求めました。

そして検証してから総合体育館を改修する事に決定し、その為補修予算11、470、000円を否決しました。今後も、公共施設

と新設改築する際には計画段階、バリアフリーや設備の観点、利用者、管理者目線を重視し設計図のチェックを行っていききたいと思います。



換気設備改修



湯島総合体育館

5

江戸川橋体育館避難所運営訓練

平成29年2月5日(日)に実施されました。いざという時、8町会(私の関水町会等)は江戸川橋体育館(旧文京五中)と江戸川橋福祉センターに避難する事になっています。



図上訓練



テント作り



給食物資班

この避難所運営訓練は文京区にある33箇所のうち、先進的で東北大震災以前に唯一、泊まり込みの訓練をしています。

今回、幹事長として防災課と「情報管理と判断」をテーマに企画しま

した。体育館に仮本部を設置し図上訓練(HUG)を実施し、災害想定を地図に記入し状況を把握しました。

また、昨年の経験から、災害想定の一問と模範解答のマニュアルを用意してもらい、1時間にわたって訓練

しましたが、まだ課題がありました。また、いつも通り、総務情報班、避難者援護班、救護衛生班、給食物資班に分かれ訓練をし、消防署、消防団、警察署にも参加してもらい約200人で訓練しました。